



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日: 令和8年6月18日

子どもが「変わる＝成長する」ために、運動会も変わります

校長 櫻井 亮

昨日、運動会総練習が行われました。

総練習で得られた“良かったこと”“うまくできなかったこと”を、子どもたち一人一人が振り返ったり学級・学年で話し合ったりし、土曜日の本番に向けて残り2日間の練習期間に取り組んでいるところです。

さて、今年度の運動会ですが、前号でお伝えした「子どもたちに育てたい力や心」を着実に育成するために、今の堺小の子どもたちの姿と練習内容や練習時間を照らし合わせ、昨年度から変更した点がありますので、改めてお知らせします。

①開会式・閉会式・応援合戦について

…入場行進や隊形移動を簡略化する等の工夫をします。

○練習内容を精選することで、子どもたちが集中して練習に取り組み、子どもたちに身に付けてほしい力（「集団生活の充実」等）の育成に時間を充てるようにします。

②リレーについて

…これまで各学級から選抜された子どもたちによるリレーから、全員参加のリレーに変更し、新たな種目として行います。

○運動会のねらいの一つである「運動の技能を高める」「練習の成果を発表する（見ていただく）」という観点から、1学期前半の体育の授業で行っている「走る運動」「リレー」の練習の成果を発揮する場として、全員リレーに取り組むこととしました。

○毎年全学年で実施している新体力テストの結果を見ると、50メートル走の記録が全道・全国の平均値より低いという結果が数年続いていることから、新たな取り組み方によって、走る運動に対する意欲を高めていく工夫が必要と考えました。

○実施方法は、1・2年生、3・4年生、5・6年生の3ブロックに分け、学年や個々に応じた走る距離の設定や話し合い（子どもと先生・子ども同士）を通して、走る距離の工夫を考えます。

「変える」ということは不安や違和感が伴うものですが、目的をもって「変える」ことで子どもたちが「変わる＝成長する」ことを目指し、私たちは取り組んできました。

そういう思いを知っていただき、運動会での子どもたちを見ていただけると幸いです。